

## ◆ 今週のコメント

- 梅毒の報告が2例(30歳代, 50歳代ともに男性)あります。梅毒の報告数は、平成20年以降増加が顕著であり、本年の累積報告数は37例となっています。過去10年の同時期と比較して最も多い報告数となっており、今後の発生動向に注意が必要です。性別、年齢別では、男女ともに20～30歳代の占める割合が高いことから、若年層に対する啓発が重要です。梅毒の感染経路や治療、予防等に関しては、厚生労働省の「梅毒に関するQ&A」を御覧ください。

○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)

- 次回は、第52・53週合併号として、平成28年1月14日(木)に発行予定です。

## ◆ 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

- 京都市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.83(75例)となり、前週から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 五類: 梅毒2例(無症状病原体保有者1例, 早期顕症梅毒 I 期1例)【1月以降の累積報告数 37例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

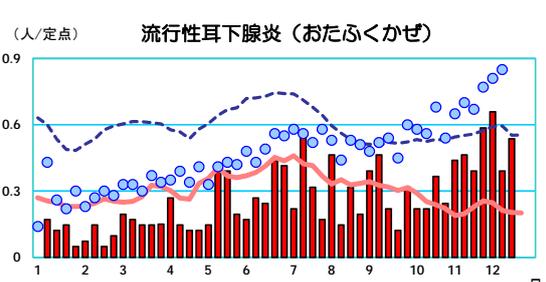
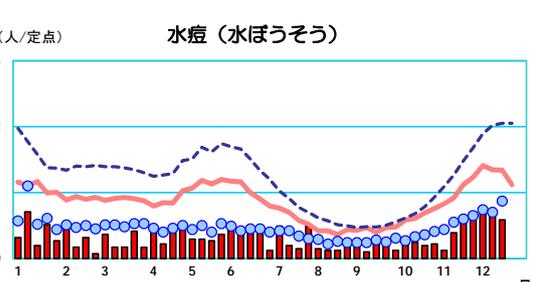
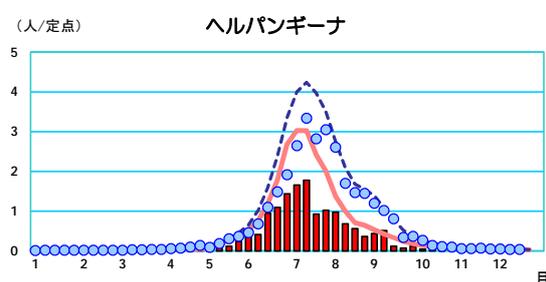
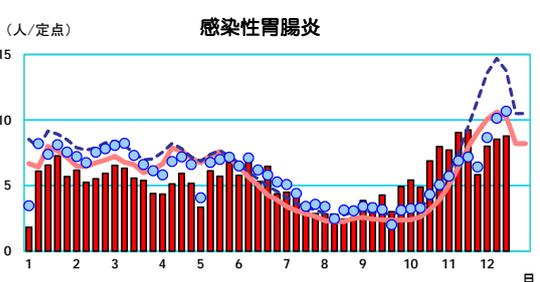
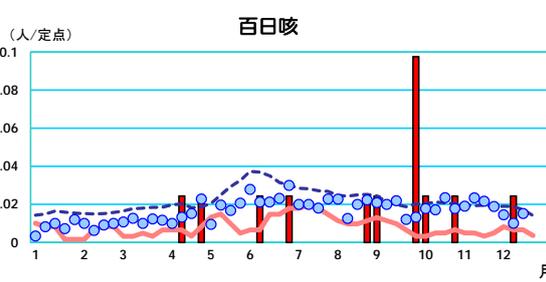
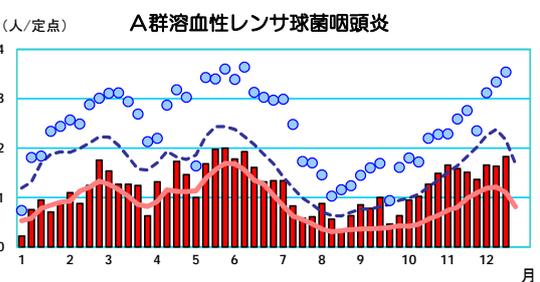
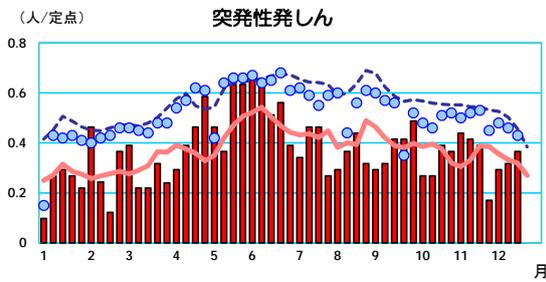
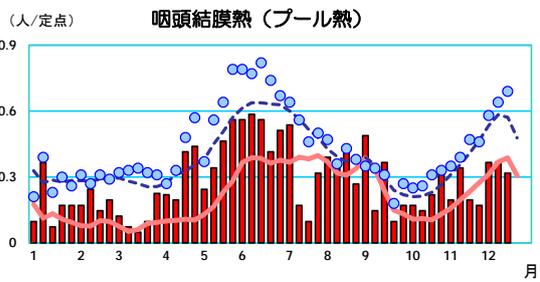
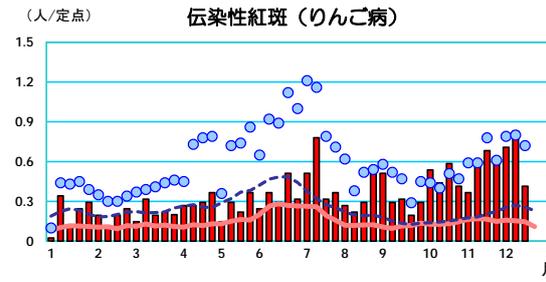
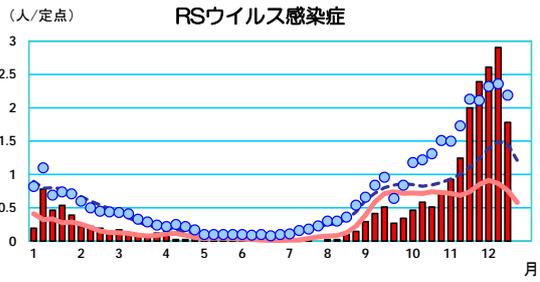
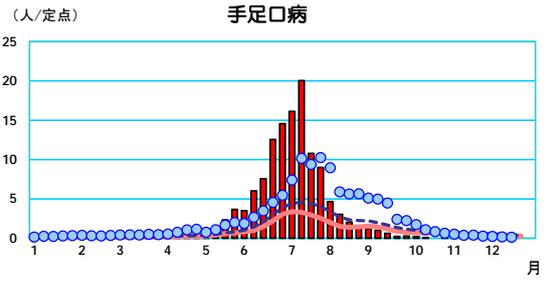
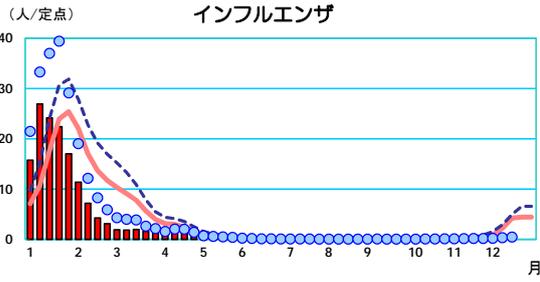
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.19	13
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.78	360
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.83	75
	③ RSウイルス感染症	1.78	73
	④ 水痘	0.59	24
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.54	22
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成27年12月25日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



## 第51週(12月14日～12月20日)トピックス: <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

### 京都市及び全国の発生動向

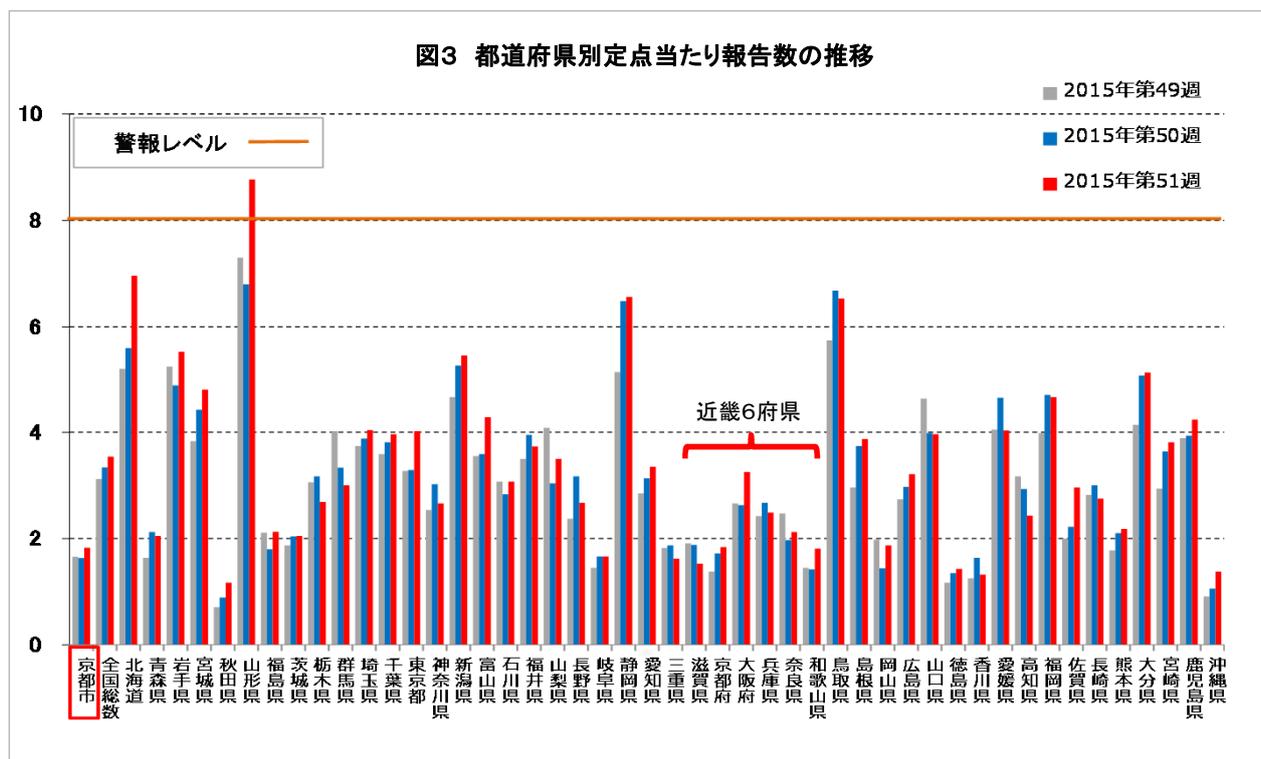
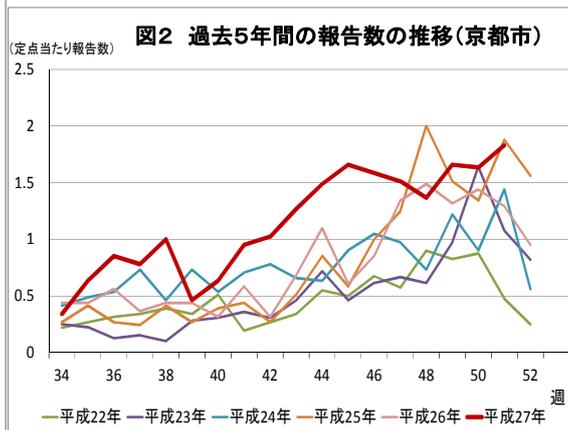
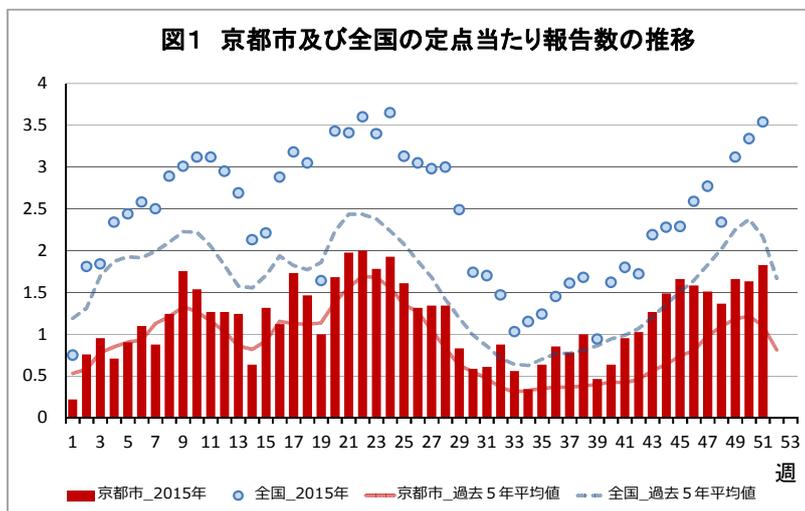
京都市のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.83(75例)となり、前週から増加しました(図1)。過去5年間と比較してみると、平成27年は第35週以降、報告数の多い傾向が続いています(図2)。全国でも定点当たり報告数は3.54となり、増加が続いています(図1)。都道府県別でみると多い順に山形県、北海道、静岡県、鳥取県となっています(図3)。近畿6府県では全国の定点当たり報告数を下回っているものの、30都道府県で前週から増加しており(図3)、全国的に報告数の増加が続いていますので、今後の発生動向に注意が必要です。

### 症状

潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。通常、1週間以内に主症状が消失する予後良好の疾患ですが、皮膚の発疹や舌の発赤が現れる「猩(しょう)紅熱」という状態になることがあります。ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに感染しやすく、家庭での兄弟間や、学校、幼稚園、保育園など小児の集団生活施設での感染も多くみられます。年齢別割合では、9歳以下が全報告数の80%前後を占めます。

### 予防

感染予防としては、患者との濃厚接触を避けることが最も重要です。また、うがいや流水・石鹸による手洗いなどの一般的な予防を行うことが大切です。マスクを用いた咳エチケットは、くしゃみや咳からの感染予防効果が期待できます。



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第51週

疾病,行政区別報告数

平成27年12月14日～平成27年12月20日

データ入手日:平成27年12月25日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	2	-	2	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	3	9	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
左京	1	4	1	4	101	3	-	-	3	-	-	3	-	-						
中京	2	5	-	1	18	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	3	-	2	28	-	-	-	-	-	-	1								
山科	-	9	-	9	13	1	-	1	3	-	-	-	-	-						
下京	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
南	6	-	-	2	14	5	-	3	1	-	2	-								
右京	-	10	3	14	51	-	-	4	-	-	-	2		4						
伏見	-	36	6	31	71	3	1	5	6	-	-	15		-						
西京	2	4	3	7	48	8	1	3	2	-	-	1		-						
京都市計	13	73	13	75	360	24	2	17	15	-	2	22		4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	0.50	-	0.50	1.75	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	1.00	3.00	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-						
左京	0.14	1.00	0.25	1.00	25.25	0.75	-	-	0.75	-	-	0.75	-	-						
中京	0.40	1.67	-	0.33	6.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	1.50	-	1.00	14.00	-	-	-	-	-	-	0.50								
山科	-	2.25	-	2.25	3.25	0.25	-	0.25	0.75	-	-	-	-	-						
下京	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
南	1.20	-	-	0.67	4.67	1.67	-	1.00	0.33	-	0.67	-								
右京	-	2.00	0.60	2.80	10.20	-	-	0.80	-	-	-	0.40		4.00						
伏見	-	5.14	0.86	4.43	10.14	0.43	0.14	0.71	0.86	-	-	2.14		-						
西京	0.29	1.00	0.75	1.75	12.00	2.00	0.25	0.75	0.50	-	-	0.25		-						
京都市計	0.19	1.78	0.32	1.83	8.78	0.59	0.05	0.41	0.37	-	0.05	0.54		0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第51週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年12月14日～平成27年12月20日

データ入手日:平成27年12月25日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	13	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	1	1	-	1	2	-
RSウイルス感染症	年齢1	73	7	10	24	22	8	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	13	-	-	1	2	1	-	3	4	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	75	-	1	2	6	8	10	9	7	8	7	6	5	-	6	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	360	1	26	66	39	43	19	22	21	26	12	11	35	7	32	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	24	-	-	3	4	2	-	3	1	1	3	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	17	-	-	-	-	1	5	1	5	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	15	-	6	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	22	-	1	2	2	2	2	6	2	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.19	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.06	0.04	0.01	0.01	-	0.01	0.03	-
RSウイルス感染症	年齢1	1.78	0.17	0.24	0.59	0.54	0.20	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.32	-	-	0.02	0.05	0.02	-	0.07	0.10	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	1.83	-	0.02	0.05	0.15	0.20	0.24	0.22	0.17	0.20	0.17	0.15	0.12	-	0.15	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	8.78	0.02	0.63	1.61	0.95	1.05	0.46	0.54	0.51	0.63	0.29	0.27	0.85	0.17	0.78	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	0.59	-	-	0.07	0.10	0.05	-	0.07	0.02	0.02	0.07	0.02	0.12	-	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.41	-	-	-	-	0.02	0.12	0.02	0.12	0.05	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.37	-	0.15	0.15	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.54	-	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05	0.15	0.05	-	-	0.02	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.30	-	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第51週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年12月25日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	7	10	6	7	19	13
RSウイルス感染症	51	82	98	107	119	73
咽頭結膜熱	14	8	7	15	15	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	62	56	68	67	75
感染性胃腸炎	371	379	239	328	350	360
水痘	16	22	29	32	26	24
手足口病	2	2	2	3	3	2
伝染性紅斑	23	28	26	29	34	17
突発性発しん	17	16	7	12	13	15
百日咳	-	-	-	-	1	-
ヘルパンギーナ	-	2	1	-	5	2
流行性耳下腺炎	19	16	24	27	16	22
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	8	4	9	5	4
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	589	635	499	637	673	620

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.10	0.15	0.09	0.10	0.28	0.19
RSウイルス感染症	1.24	2.00	2.39	2.61	2.90	1.78
咽頭結膜熱	0.34	0.20	0.17	0.37	0.37	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.59	1.51	1.37	1.66	1.63	1.83
感染性胃腸炎	9.05	9.24	5.83	8.00	8.54	8.78
水痘	0.39	0.54	0.71	0.78	0.63	0.59
手足口病	0.05	0.05	0.05	0.07	0.07	0.05
伝染性紅斑	0.56	0.68	0.63	0.71	0.83	0.41
突発性発しん	0.41	0.39	0.17	0.29	0.32	0.37
百日咳	-	-	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ	-	0.05	0.02	-	0.12	0.05
流行性耳下腺炎	0.46	0.39	0.59	0.66	0.39	0.54
急性出血性結膜炎	0.20	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.80	0.40	0.90	0.50	0.40
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	14.60	16.00	12.42	16.15	16.61	15.30

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。